

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2018-06-15

APM news 192

秋山孝ポスター美術館 長岡

国の登録有形文化財・長岡市都市景観賞受賞・金庫扉と雁木のある美術館



〒940-1106 新潟県長岡市内宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

第27回企画展 秋山孝ポスター展10

秋山孝の神秘4 「印刷すること」「手描きすること」2

【「印刷すること」と「手描きすること」の違いの発見】

印刷することの魅力は、描くこととは全く異なる。現在はほとんどのポスターがオフセット印刷の技術を使い、ポスターを制作している。以前はシルクスクリーン印刷技術を使い表現をしていた。その理由はシルクスクリーン印刷は孔版を使い、シルクの間から紙の上に転写されるが、オフセット印刷は平版を使いリトグラフに類似する技法だ。さらに、凸版印刷もあるが技術の広がりや狭い点と高価になり大きな紙の使用が困難なため、オフセット印刷を使うようになった。大学ではインクジェットプリントの技法を使うと部数が少なく安価な印刷が可能のため、ほとんどの学生はインクジェットプリンタを使っている。それと、パーソナルコンピュータの普及と相まって版の制作が迅速かつモニターの中でイメージを掴みやすいため、国際的に普及することとなった。しかし、上記の印刷技法の中ではオフセット印刷が耐久性も含め上質な安定性を保つため現在広く活用されている。

1- 「印刷インクと絵の具との違い」

多くの場合は、4色の網の掛け合わせによってパーセンテージ(%)を決め、手描き原画のように絵の具を使うことはしない。これらは今まで絵の具を使うことによって得た感覚と学習の成果の結果である。それは、オフセット印刷で使用される顔料(インク)と手描きによる顔料(絵の具)の決定的な違いがあるからだ。つまり、オフセット印刷に使用するインクの濃度の基準と、絵の具のメジウムと顔料の濃度の基準が異なるためである。

2- 「コンピュータのモニターと紙に乗る絵の具の輝きとの違い」

コンピュータのモニターは光混合の色で、紙上の絵の具の色の輝きは光の反射のため認識が異なる。

3- 「絵の具とオフセット印刷の顔料の違い」

上質な顔料は高価なため一点作品には活用できるが、オフセット印刷の場合は部数が多いため不可能である。また、オフセット印刷は4色(CMYK)の掛け合わせによって印刷される。その違いは歴然としている。つまり、オフセット印刷の限界を認識しなければならない。また、インクの定着の色の輝きが異なるため、用紙の選定は重要なポイントとなる。

【「手描きすること」の秘密】

「手描きすること」はキャンバスや紙と絵の具の関係性をよく考えなければならない。その作品は、上質な絵画技術と材料を使い、独自の彩色技法を駆使しキャンバスや紙に描く。よってオリジナル作品として魅力性を増す。さらに、「手描きすること」にしかできない卓越した描写技法を発見することになる。表現の広がりや深さは遙かな地平に向かって進む。時代を経て生き延び続ける上質な品質を持つ作品は、稀に見る技術と芸術性を垣間見ることができる。その経験は、人々の心に深く感覚的に入り込む。

「印刷すること」と「手描きすること」には類似する点も多々あるが、比較するということ自体が意味の無い比較なのかもしれない。

そこで、比較することに意味のない比較とばかりは言ったが、やはり比較しなければ手描きから生まれた手描き表現の違いを認識することはできないだろう。

秋山 孝 (APM館長・多摩美術大学教授) 【▶次号へつづく】